

件名	使用済及び使用済燃料の輸送計画（平成23年度年間輸送計画）
通報日	平成23年3月31日
概要	<p>柏崎刈羽原子力発電所平成23年度燃料輸送計画は別紙のとおり。</p> <p>別紙「柏崎刈羽原子力発電所 平成23年度燃料輸送計画」</p>

# 柏崎刈羽原子力発電所 平成23年度燃料輸送計画

平成23年3月31日  
東京電力(株)  
柏崎刈羽原子力発電所

## 1. 新燃料輸送計画

(1) 輸送予定数量、時期  
未定

(2) 輸送方法  
発電所までトラックにより陸上輸送します。

(3) 輸送における安全対策等

- ・新燃料は、国の技術基準に適合した専用の容器に収納し、輸送します。
- ・輸送にあたっては、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」等の関係法令を厳守し、輸送隊列を編成のうえ、常時安全を確認しながら整然とした運行を実施します。
- ・輸送物の放射線量は、法令基準値を十分下回っており、問題のないものですが、放射線の厳格管理を図るため、放射線技術者が同行します。

2. 使用済燃料輸送計画  
未定

### 3. その他

#### 使用済燃料号機間輸送について

(1) 予定数量、時期  
未定

(2) 運搬方法

使用済燃料を専用の容器（キャスク）に収納し、トレーラに積載して運搬します。

(3) 構内運搬における安全対策等

- ・ 使用済燃料は、国の技術基準に適合した専用の容器に収納し、運搬します。なお、この容器は発電所外（再処理工場）へ輸送するための容器と同一の設計・構造のものです。
- ・ 運搬にあたっては、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」等の関係法令を厳守し、常時安全を確認しながら実施します。
- ・ 運搬物の放射線量は、法令基準値を十分下回っており、問題のないものですが、放射線の厳格管理を図るため、放射線技術者が同行します。

以 上

## 柏崎刈羽原子力発電所 平成 2 2 年度燃料輸送実績

## 1. 新燃料輸送実績

## (1) 輸送数量、時期

No.	ユニット名	輸送数量	搬出元	輸送日	備考
1	6号機	322体	(株)グローバル・ニュークリア・ フュエル・ジャパン	平成22年 4月 8日	取替用燃料
2	1号機	180体	原子燃料工業(株)	平成22年 7月28日	取替用燃料
3	7号機	200体	(株)グローバル・ニュークリア・ フュエル・ジャパン	平成22年 9月15日	取替用燃料
合 計		702体			

## (2) 輸送車両の線量当量率測定結果

(単位：マイクロシーベルト/時)

No.	ユニット名	測定場所		
		車両表面	車両表面から1m	運転席
1	6号機	1.2以下	6以下	1以下
2	1号機	7以下	3以下	1以下
3	7号機	1.3以下	6以下	1以下

(注) ・測定値は発電所到着段階で測定したものの最大値を記載

・線量当量率の法令の基準値

車両表面 2000マイクロシーベルト/時

車両表面から1m 100マイクロシーベルト/時

運転席 20マイクロシーベルト/時

## 2. 使用済燃料輸送実績

使用済燃料輸送実績はありません。

3. その他

1号期間移動実績

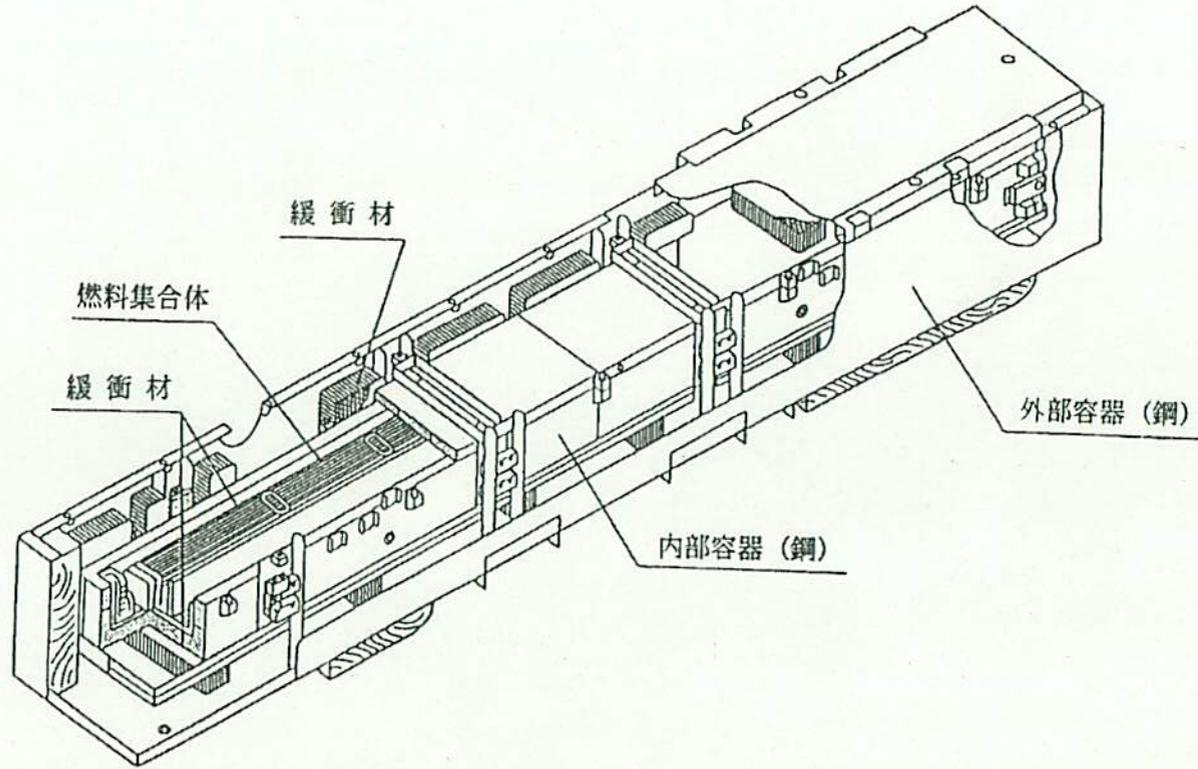
(1) 輸送数量、時期

No.	ユニット名(搬出元→搬入先)	予定数量	輸送日	備考
1	1号機 → 6号機	152体 (38体×4回)	(平成23年3月24日) (平成23年4月5日) (平成23年4月15日) (平成23年4月26日)	号期間移動 ※ ()内は 予定
合計		152体		

以上

新燃料の放射線はきわめて弱く、また、燃料集合体は耐熱性、密封性にたいへん優れています。これを頑丈で、衝撃に十分耐えられる輸送容器に

収納して輸送します。新燃料の輸送容器は、図のような構造になっています。



長さ : 約 5.1 m  
重さ : 約 1.5 トン

BWR用新燃料輸送物全体図 (例)

## 輸送方法

原子燃料の陸上輸送の場合は、トラックまたはトレーラーの前後に伴走車を配置し、隊列を組んで輸送します。各車両には無線機や自動車電話を備え、安全を確認するため先行する車が道路事情

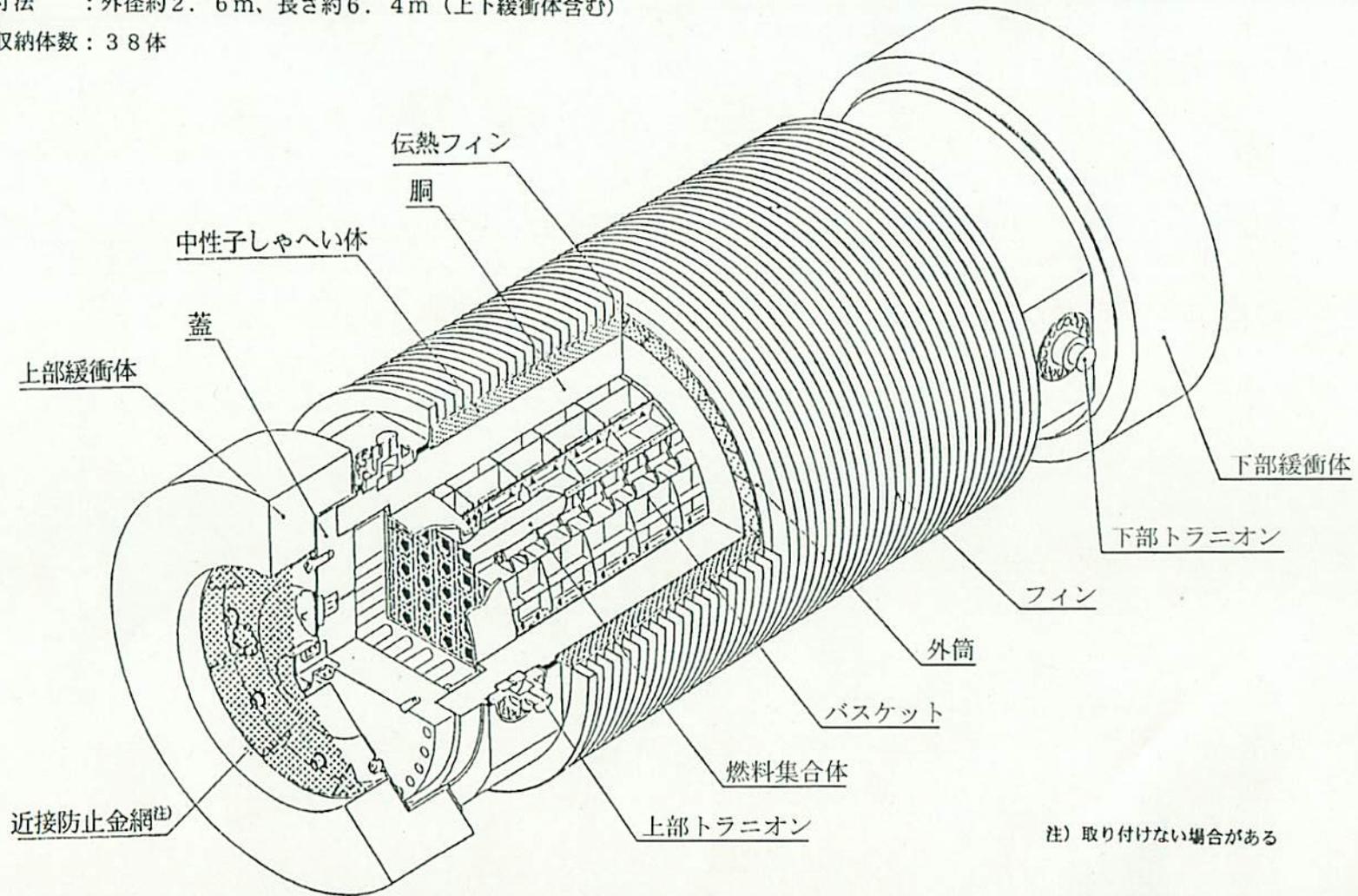
などを事前に把握し輸送隊に連絡するとともに、常に輸送本部と連絡を取り安全を確認しながら輸送します。



(出典) 電気事業連合会作成パンフレット「原子燃料の輸送 (輸送方法と安全対策)」

## 新燃料輸送隊列 (例)

総重量 : 119トン以下  
 外形寸法 : 外径約2.6m、長さ約6.4m (上下緩衝体含む)  
 燃料収納体数 : 38体



使用済燃料用輸送物全体図